

# 放射能測定計画（2015年4月～2016年3月） 2015年3月更新

## 放射能測定計画変更点:

現在、製品と空調フィルターの2項目において放射能測定を実施しております。事故直後(2011年5月)の空調フィルタ測定値が最も高値を示し、その後4年間で著しい低下傾向にあります。その間の製品の放射能測定には問題ありませんでした。よって今後は、製品でのモニタリングを廃止し、空調フィルタの測定頻度を上げて放射能の傾向を監視することと致します。製品については、モニタリングを継続する空調フィルタの測定値が事故直後の値を上回った場合に、製品の放射能測定を速やかに実施します。

## 測定頻度について:

下記青字:2015年3月更新

製品 …【変更前】6か月毎測定→【変更後】廃止

カヌラ／部品 …【変更前】2か月毎に1種類測定→【変更後】廃止

空調フィルター …【変更前】1年毎測定→【変更後】6か月毎測定

洗浄水(変更なし)…自社測定無し(但し、自治体の情報は随時監視、結果を毎月掲載することとする)

なお、測定方法および異常発生時の対応につきましては、下記赤字のとおりで変更はございません。

	製品	空調フィルター	備考
2015年 1月	●		
2月		●	
3月			震災より4年経過
4月			
5月			
6月			
7月		○	
8月			
9月			
10月			
11月			
12月			
2016年 1月		○	
2月			
3月			震災より5年経過

●:実施済み ○:実施予定

- ・測定は全て外部検査機関にて実施する。
- ・測定によって、製品に国の許容限度を超える放射能が感知された場合は、日本政府・自治体に届出すると共に速やかに顧客報告と出荷停止を実施する。